

かながわの文化、伝統を堪能

月別お祭り紹介

1月 左義長 大磯町

別名「どんと焼き」「さいと」とも呼ばれる、大磯町のものが県下最大規模である。漁民たちが正月の飾りを集めて、海岸に運びと呼ばれる7~8mの塔を組み上げる。夜明けが暗くなった頃、塔に点火。数基の塔が燃え上がる様子は圧巻だ。

開催日●1月中旬/場 所●大磯町北浜海岸/交 通●東海道線大磯駅下車



1月 かながわイベントガイド

| | |
|---------------------|-----------------------|
| 1日 元旦初泳ぎ(小田原市) | 15日 左義長(鎌倉市) |
| 2日 寒川神社の追儺祭(寒川町) | チャッキラコ(三浦市) |
| 2~3日 東京・箱根間往復大学駅伝競走 | 20~21日 初大師(川崎市) |
| 4日 手舂始め(鎌倉市) | 23~24日 板橋地蔵尊祭礼(小田原市) |
| 6日 田名八幡宮の祭(相模原市) | 25日 岡村天満宮の初天神(横浜市) |
| 7日 奉経祭(小田原市) | 文珠祭(鎌倉市) |
| 日枝神社の歩射(川崎市) | 在柄天神社の神供養(鎌倉市) |
| 阿夫利神社の御祭神事(伊勢原市) | 27~28日 大雄山最乗寺大祭(南足柄市) |
| 寒川神社の武佐弓祭(寒川町) | 28日 満福寺の火伏まつり(小田原市) |
| 8日 左義長(大磯町) | 武山不動(横須賀市) |
| 15日 筒笠神事(二宮町) | 木賊不動のだるま市(川崎市) |

2月 小田原梅まつり 小田原市

小田原梅の生産地、曾我地区の梅林が2月中に無料開放される。梅まつり期間中、満開の梅が香る馬場、流籠馬が行われ、寿獅子舞なども見ることができ。小田原城址公園では俳句短歌会や梅の盆栽展などが行われる。

開催日●2月上旬~3月上旬/場 所●曾我梅林/交 通●東海道線下曾我駅下車



2月 かながわイベントガイド

| | |
|--------------------|--------------------|
| 1~4日 小田原梅まつり(小田原市) | 1~3日 三溪園の観梅会(横浜市) |
| 初午の日 白笹荷初午祭(栗野市) | 1~3日 田浦梅林まつり(横須賀市) |
| 3日 最乗寺部分祭(南足柄市) | 中旬の日 世附の百万遍念仏(山北町) |
| 8日 岡村天満宮の針供養(横浜市) | 17日 寒川神社の田打舞(寒川町) |
| 11日 長勝寺の流行(鎌倉市) | 28日 大山寺の五福摩羅(伊勢原市) |

3月 衣笠さくら祭り 横須賀市

衣笠山は三浦半島唯一の桜の名所で、2000本の桜が咲く。鎌倉幕府創設時に、時の重鎮三浦一族の居城があり、まつりの期間中のみ「三浦一族出陣者行列」が行われる。

開催日●3月下旬~4月上旬/場 所●横須賀市衣笠山公園/交 通●横須賀線衣笠駅または京急横須賀中央駅下車



あつき飯山桜まつり 厚木市

約3000本の桜が咲く県最大の名所。公園内には桜の時期に合わせてばね祭りが設置され、夜後も見応えがある。

開催日●3月下旬~4月上旬/場 所●飯山山森林公園、飯山公園/交 通●東海道線厚木駅下車



3月 かながわイベントガイド

| | |
|----------------------|----------------------|
| 上旬 白岩神社の歩射(大磯町) | 羽除-組 小田原さくらまつり(小田原市) |
| 湘南江の島春まつり(藤沢市) | 衣笠さくら祭り(横須賀市) |
| 第1土曜 寄神社の祭礼(松田町) | 乗立塚山公園さくら祭(横須賀市) |
| 18~24日 川崎大師の御影供(川崎市) | あつき飯山桜まつり(厚木市) |
| 27日 仙石原の湯立獅子舞(箱根町) | 南郷公園桜まつり(横須賀市) |
| 28日 八幡神社春の例大祭(寒川町) | |

4月 日向薬師の春まつり 伊勢原市

霊龜2年に創建され、日本三大薬師のひとつに数えられる日向薬師。本尊の開扉の後、修験者が神木登りを行う。

開催日●4月中旬/場 所●伊勢原市日向/交 通●小田急線伊勢原駅北口下車



大岡越前祭 茅ヶ崎市

江戸時代の名奉行、大岡越前守忠相の遺徳をしのび大岡家の菩提寺である浄見寺での越前祭を皮切りに市内各所で多彩な行事が行われる。

開催日●4月中旬/場 所●茅ヶ崎市内一円/交 通●東海道線茅ヶ崎駅下車



鎌倉まつり 鎌倉市

源頼朝、義経、静御前など鎌倉ゆかりの人物をしのぶ祭り、昭和34年に始まった。弓道大会、花祭り、野点席など春爛漫の華やかな催しのほか、鶴岡八幡宮舞殿の「勝の舞」、そして騎馬武者が登場する流籠馬が見どころ。

開催日●4月中旬/場 所●鎌倉市鶴岡八幡宮/交 通●横須賀線鎌倉駅下車



三之宮比々多神社の春祭り 伊勢原市

奈良時代に国土豊饒を願うため国の祭りとして始まった。見応えがあるのは、加藤清正、熊谷直実、仁木正正のからくり歌舞伎人形が飾られた山車。祭り囃子連中が乗り込み、太鼓を鳴らして市内を練り歩く。

開催日●4月21~22日/場 所●伊勢原市三ノ宮/交 通●小田急線伊勢原駅北口下車



秦野丹沢まつり 秦野市

神奈川県の屋根、丹沢の日本一早い山開き。渋沢駅前通りでは旧領主米倉丹後守の堂々たる子供大名行列も催され、賑わいを見せる。

開催日●4月第3土・日曜日/場 所●秦野市渋沢地区/交 通●小田急線渋沢駅下車



五所宮八幡神社例大祭 中井町

山車と神輿が街を練り歩いた後、神社近くの旅館に戻る。「鷲の舞」が披露される。五穀豊稔、無病息災を祈念した太鼓と笛の優雅な調子に合わせて、鷲、獅子を形どった張り手をかぶった踊り手が角形舞台上に舞う。

開催日●4月下旬/場 所●中井町通源/交 通●東海道線二宮駅下車



4月 かながわイベントガイド

| | |
|--------------------|-----------------------|
| 上旬 相模原市民桜まつり(相模原市) | 中旬 秦野丹沢まつり(秦野市) |
| やまきた桜まつり(山北町) | 大岡越前祭(茅ヶ崎市) |
| 城山桜まつり(綾瀬市) | 高野尊祭(大磯町) |
| 寄自然林養村マス釣り大会(松田町) | 吟声吐 厚木市緑のまつり(厚木市) |
| 第1日曜 花まつり(南足柄市) | 17日 半鐘丸坊の大祭(斐伊川町) |
| 花まつり(湯河原町) | 21~24日 遊行寺の春の開山忌(藤沢市) |
| 龍口寺の花まつり(千部会(藤沢市)) | 下旬 野毛大遠宴(横浜市) |
| 3日 若宮別祭(鎌倉市) | 三之宮比々多神社の春祭り(伊勢原市) |
| 4日 時宗祭(鎌倉市) | 五所八幡宮神社例大祭(中井町) |
| 7~9日 極楽寺特別拝観(鎌倉市) | 大野山開き(山北町) |
| 8日 飯山観音例大祭(厚木市) | 成瀬丸フェスティバル(横須賀市) |
| 中旬 日向薬師の春まつり(伊勢原市) | 下-5日 泳げ狸のぼり相模川(相模原市) |
| 鎌倉まつり(鎌倉市) | |

5月 横浜みなと国際仮装行列 横浜

横浜の春の風物詩として人気の仮装行列。山下公園前から馬車道、伊勢佐木町を通り藤田公園までパレードする。

開催日●5月3日/場 所●横浜山下公園周辺/交 通●京浜東北線川崎駅または関内駅、みなとみらい線日本大通り駅下車



相模國府祭 大磯町

国府祭は、現大磯町国府に、相模国の国府が置かれた国府本郷の祭り、小字高天原で行う国府祭の二つを指す。六つの神社による広域に広がる古式催事で県の無形文化財指定。座間塔、鷲舞がいしへの歴史を感じさせてくれる。

開催日●5月上旬/場 所●大磯町国府内/交 通●東海道線大磯駅下車



曾我の傘焼まつり 小田原市

曾我兄弟が雨の暗夜に傘に火をつけて松明の代わりとし、父の仇工藤祐経の陣屋に討ち入りした故事にちなんだ曾我兄弟を供養する行事。傘は燈に通じ、無病息災の祈願であるとも言われる。特に夜は風情ある雰囲気味わえる。

開催日●5月中旬/場 所●小田原市梅のセンター/交 通●東横線下曾我駅下車



道すまつり 三浦市

相模の武士、三浦一族の鎮魂祭。午前中に供養祭が行われ、午後は祭りの見どころである三浦一族のお家芸の笠巻が披露される。射手が荒井浜海岸を疾走する馬上から的を射抜くもので、伝統を受け継ぐ高度な技は見ものである。

開催日●5月下旬/場 所●三浦市油巻荒井浜海岸/交 通●京急線三浦駅下車



5月 かながわイベントガイド

| | |
|---------------------|--------------------------|
| 上旬 相模國府祭(大磯町) | 中旬 曾我の傘焼まつり(小田原市) |
| 第2土・日 大和市市民まつり(大和市) | 川崎大師新能(川崎市) |
| 3日 小田原北棟五代祭り(小田原市) | 14~16日 伊勢山皇大神宮の春の大祭(横浜市) |
| 横浜みなと国際仮装行列(横浜市) | 27~28日 大雄山最乗寺大祭(南足柄市) |
| 4~5日 相模の大原まつり(相模原市) | 下旬の日 大山の酒祭(伊勢原市) |
| 座間の大原まつり(座間市) | 下旬 道すまつり(三浦市) |
| 5日 寄自然林養村茗葉まつり(松田町) | |

6月 蛇も蚊も祭り 横浜市

約300年の歴史をもつ疫病除けの行事。祭り当日に神社の境内で2体の蛇体を作る。この大蛇をもちたかかついで町内を練り歩き、賽銭を出した家の前では蛇体を高く投げつけて載いをする。

開催日●6月上旬/場 所●横浜市中区西区生麦原神社・道念稲荷神社/交 通●京急線生麦駅下車



6月 かながわイベントガイド

| | |
|---------------------|----------------------|
| 上旬 八雲祭(三浦市) | 第2日曜 大磯白キス投釣り大会(大磯町) |
| 産業まつり(清川村) | 1~2日 横浜開港祭(横浜市) |
| 浅間神社例大祭(横浜市) | 13日 九頭電神事例祭(箱根町) |
| 蛇も蚊も祭り(横浜市) | 16日 汐神楽(葉山町) |
| 上旬~中旬 開成あじさい祭り(開成町) | 30日 寒川神社の夏越の大祓(寒川町) |
| 中旬 川崎大神ちょうん祭り(横浜市) | |

7月 湘南ひらつか七夕まつり 平塚市

平塚駅前の東海道本通り約500mに趣向を凝らした10数mの大竹を使った七夕飾りのトンネルができる。沿道には鶯天が並び、七夕飾りコンクールなども楽しめる。

開催日●7月上旬/場 所●平塚市全域及び中心商店街/交 通●東海道線平塚駅下車



7月 江の島天王祭 藤沢市

江の島天王祭は、江島神社の本社八坂神社の例祭として続けられている。陸では唐人囃しなどが奏せられ、海では神輿が白いふきをあげてもみあう。海神輿は珍しく、その様子は迫力があり勇壮である。

開催日●7月中旬/場 所●藤沢市八坂神社/交 通●小田急線片瀬江ノ島駅または江ノ島江ノ島駅下車



はまゆい 浜降祭 茅ヶ崎市

寒川町寒川神社を始め、茅ヶ崎市内に鎮座する神輿が早朝に宮立し朝日が海上に昇る頃、南海岸に結集する。砂浜を乱舞した後、海の中へ担ぎ出され、みそぎの行事が行われる。

開催日●7月中旬/場 所●茅ヶ崎市西浜海岸/交 通●東海道線茅ヶ崎駅下車



海南神社夏の例大祭 三浦市

約1000年の歴史を誇る海南神社の祭りで、町内を練り歩く神輿の先頭として県内有数の行進獅子が舞う。獅子頭は大型で、豪放な木造、行道獅子、神輿に続き山車が神社を出発。夜、飯塚に到着し翌日お宮入りをす。

開催日●7月下旬/場 所●三浦市三崎/交 通●京急三崎駅下車



たかく みよ 高来神社の御船まつり 大磯町

700年にも及ぶ歴史と伝統をもつ受け継がれてきた祭り。観音様を海中から引き上げたという照ヶ崎海岸に伝わる伝説にちなみ、1年おきに高来神社に鎮座する2隻の山車が町内を練り歩く。

開催日●7月下旬/場 所●大磯町大磯内/交 通●東海道線大磯駅下車



きよぶ 貴船まつり 真鶴町

350余年の歴史をもち、全国でも有名なお祭りである。権伝馬が神輿船と船体を飾り立てた小早船、囃子船を曳輪し神前で祭典。翌日は町内を練り歩き、夕方に退部。風光明媚な地で行われる狂歌祭りに多くの観光客が訪れる。地元根ざした貴重な祭りでもある。

開催日●7月下旬/場 所●真鶴町真鶴神社 真鶴港/交 通●東海道線真鶴駅下車



上溝夏祭り 相模原市

江戸時代から続く古い祭りで、県最大規模の夏祭り。郷土に保存・伝承されてきた神輿と山車を公開し、各地に伝承されている「まつりばやし」などの郷土芸能を披露する。地元根ざした貴重な祭りでもある。

開催日●7月下旬/場 所●相模原市上溝高島街/交 通●相模線上溝駅下車



鎌倉花火大会 鎌倉市

夜の静かな鎌倉の海面いっぱいに広がる水中花火は日本屈指といわれる見事なもの。沖合を走行する漁船から花火が水中に投げ込まれる。また夜空を豪華絢爛に彩る打ち上げ花火も多くの見物客を楽しませる。

開催日●7月下旬/場 所●鎌倉市 由比ヶ浜海岸/交 通●横須賀線鎌倉駅下車



芦ノ湖水鳥祭・鳥居焼まつり 電町

芦ノ湖の主と言われる九頭電神に赤飯と神酒を奉じる祭典。岸辺から多くの灯籠が流され花火が打ち上げられる。鳥居焼まつりは江戸時代に電神の怒りを鎮めるために鳥居を焼いて沈めた故事にちなんで行われる。

開催日●7月下旬/場 所●芦ノ湖元根戸/湖畔/交 通●小田原駅下車

